

日本の古典に親しむコース

『源氏物語』を読む

講師 東北大学大学院文学研究科教授 横溝 博

大河ドラマ『光る君へ』が好評を博しています。ドラマをきっかけに、『源氏物語』をはじめとする日本古典文学に関心を持たれた方も多くいらっしゃるでしょう。そもそも、平安時代の貴族社会とはどのようなものであったのでしょうか。本講座では、平安朝文学の舞台裏を紐解きながら、『源氏物語』などの王朝文学作品の読み方・味わい方を学んでいきます。



横溝 博(よこみぞ ひろし)

1971年生まれ。専門は中古・中世の王朝物語及び日記文学。平安時代に作られた様々な文化的コンテンツが、後の時代に受容され再生産されていく動態に着目し、王朝文化の内包する豊饒な感性の世界の可能性を、現在にも共有し押しひろげようと、日々古典文学作品の研究に努めている。近年では単著に『王朝物語論考—物語文学の端境期—』(勉誠出版、2023)他がある。

締切 5/14 必着

日程 6/8、7/6、9/7、10/5、10/26

各土曜日・全5回

時間 10:30～12:00

定員 70人

受講料 1回500円

テキスト

講義はこちらで用意したプリントに沿って進めますが、お手持ちの古典文学の参考書などがある方はご持参下さい。

『万葉集』を味わう

講師 一関工業高等専門学校総合科学人文社会領域教授 津田 大樹

この講座では山部赤人の歌を取り上げます。紀貫之は古今和歌集の仮名序で人麻呂と赤人を並べ讃えています。奈良時代に活躍した赤人は万葉集を代表する歌人であるとともに、百人一首に採られた富士山の歌でも知られる通り、後代の歌人からも高く評価されました。自然や旅先での見聞にふれて詠作された作品を読んでいます。



津田 大樹(つだ たいき)

1967年生まれ。東北大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。現在、一関工業高等専門学校人文社会系教授。『万葉集』を主とした古代文学を専門としている。歌の表現の成り立ちを古代の歴史や文化を踏まえながら明らかにすることを目指している。

締切 7/31 必着

日程 9/1、9/8、9/15、9/22、9/29

各日曜日・全5回

時間 10:30～12:00

定員 70人

受講料 1回500円

テキスト

講義はこちらで用意した資料に沿って進める予定です。お持ちの『万葉集』がある方はご持参下さい。毎回、次の講座で扱う歌をお知らせします。

近代文学を読み解くコース

『赤い鳥』の世界

講師 東北工業大学准教授 大木 葉子

大正時代に日本の子どもの読み物はそれまでの教訓譚としてのありかたを大きく変え、豊かな文学性を持った童話・童謡へと発展を遂げていきます。それを象徴する雑誌、それが鈴木三重吉が主宰する『赤い鳥』でした。本講座では『赤い鳥』が生み出された背景及び概要を整理した上で、鈴木三重吉、芥川龍之介、北原白秋といった当時の一流の文壇作家の手による『赤い鳥』童話・童謡を読み解いてみたいと思います。



大木 葉子(おおき ようこ)

1969年生まれ。東北大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在東北工業大学准教授。専門は日本近代児童文学。特に大正期から昭和初期にかけての児童文学と一般の文学との関係及び同時代の時代思潮・文化状況との関係についての研究に取り組んでいる。

締切 7/30 必着

日程 8/31、9/14、9/28

各土曜日・全3回

時間 10:30～12:00

定員 70人

受講料 1回500円

テキスト

取り上げる作品を適宜印刷し、配布する予定です。